

おごせ教育 Pick Up

学校再開後の 小中学校の対応は？

越生町教育委員会

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休校から6月1日に授業が再開されました。学校では、子供たちの適切な距離を保ちつつ、感染拡大防止に取り組んでいます。子供たちは新しい生活様式を意識しつつ、学校生活を楽しんでるようです。

今月号の「おごせ教育Pick Up」では、再開後の小中学校の対応についての疑問にお答えします。

Q1 休校でできなかった授業はどうなりますか？

A1 休校分の学習内容は、様々な工夫をして補充していきます。

今後、夏休みを短縮して授業時間を確保したり、年間指導計画や学校行事の一部、町のイベントなどを組み替えるなどの工夫をしたりしながら、前年度の復習を含め、休校分の学習内容を補充していきます。

Q2 学校行事や町のイベントはどうなりますか？

A2 子供たちの安全を最優先にして検討していきます。

学校行事は、子供たちにとって体験的な活動を通して学ぶ大切な教育です。今後、実施の時期や内容などを検討していきます。



7月までに計画を断念した行事は、生活科や社会科の校外学習、授業参観、保護者会、運動部活動の入間北部大会などの予定です。また、例年夏休みを中心に開催していた越生子ども未来大学、町のプール開放、サマースクールは残念ながら、夏休み中の授業と重なるため、中止といたしました。色々と中止となりましたが、今後もバランスのとれた教育をしていきます。

Q3 夏休みはどれだけ短縮されますか？

A3 18日間（約90時間）授業を行います。

休校中の学習内容の補充を行うため、18日間（時間数にすると約90時間分）、夏休みを短縮して授業を実施します。この間給食はありません。夏休みは、通常ですと7月22日から8月27日までですが、今年は、8月8日から8月17日までといたします。

Q4 夏休み中の越生小のトイレ改修はどうなりますか？

A4 今年度の補助事業です。計画通り実施します。

越生小学校は昭和53年建築以来すでに42年が経過して

ます。昨年度、国・県の事業補助の内定を受け、議会での議決をいただき、校舎棟4階建2箇所、計8箇所、体育館1箇所、合計9箇所のトイレをすべて洋式等に改造します。

Q5 トイレ改修で越生小の夏休み中の授業はどうなりますか？

A5 夏休み中の授業は、梅園小、越生中で行います。

越生小はトイレ改修のため使用できませんので、1年生、2年生、3年生、特別支援学級は梅園小で、4年生、5年生、6年生は、越生中で授業を実施します。有意義な取組となるよう取り組んで参ります。この間町バス、町内事業者の皆様のご協力をいただき、バスで梅園小、越生中へ送迎いたします。

Q6 町からの給食費の支援はありますか？

A6 保護者支援策として5月～10月の6ヶ月分の給食費を町で負担します。

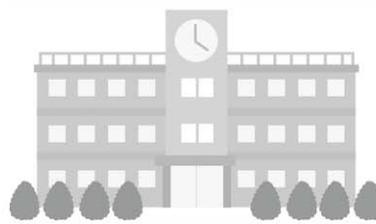
5月～10月の6ヶ月分の給食費を全額公費で負担し、この期間、保護者の口座からの引き落としは行わないよう手続きを行います。引き落としした4月や給食のなかった5月

分は年度末で調整します。

Q7 越生町の小中学校は、オンライン学習を行いますか？

A7 越生町立学校に通うすべての小中学生に1人1台のパソコンを用意します。

国の公立学校情報機器整備費補助金を活用し、パソコンの購入について、6月議会で議決いただきました。1人1台のパソコンが整備されることで、今後、学校に來られなくても、自宅のインターネット回線を使って学習が進められるよう、早急に環境を整えていきます。なお、ネット環境がない家庭でも活用できるようにいたします。当面は、学校にあるタブレットパソコンを活用し、小学校低学年から使えるよう学習をしていきます。



越生浪漫

No.138

ふるさと歩道



修繕前の解説板（黒山三滝）

「ふるさと歩道」解説板の銘板を交換しました
 ふるさと歩道解説板は、昭和58～59年（1983～84）にかけて、「埼玉県ふるさと歩道事業」で建てられました。「埼玉の自然や文化とのふれあいを通し、郷土に対する認識を高め、野外レクリエーション活動の

進展を図ることを目的とした事業」で、各自治体ごとにハイキングコースが設定されました。平成2年（1990）刊行の「新・ふるさと歩道」には、県内124の散歩コースが掲載されています。



修繕後の解説板（世界無名戦士の墓）

「黒山三滝と梅林コース」と名付けられた越生町のハイキングコース沿いの見どころに、解説板が15基設置されました。県から町に移譲され、維持管理を続けてきた解説板ですが、近年、銘板に劣化や汚損が目立ち、役割を果たせなくなってきました。昨年度末から今年度初めにかけて、調査成果や新知見などを加えて改訂したステンレス製の銘板に交換しました。

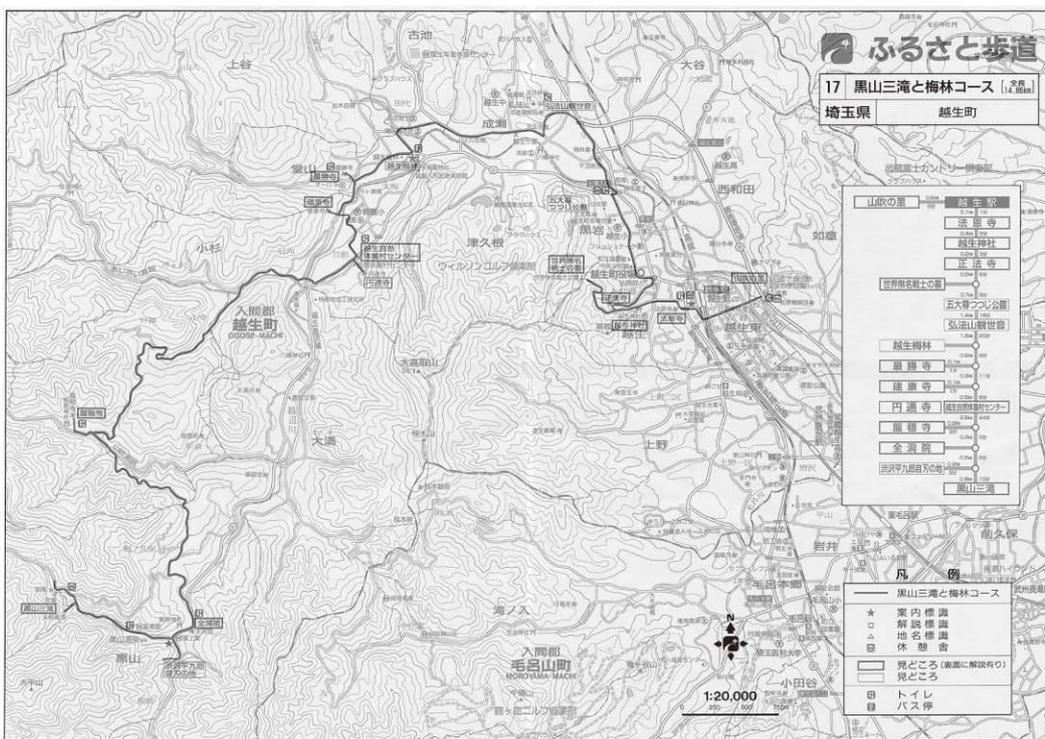


修繕後の解説板（最勝寺）

「緑深い梅林の里に遊ぶ 黒山自然公園散歩コース」
 「ひっそり息づく名勝旧跡を探る」というサブタイトルがつけられたコースは、山吹の里―法恩寺―越生神社―正法寺―世界無名戦士の墓―五大尊つじ公園―弘法山観世音―越生梅林―最勝寺―建康寺―自然休養村センター―円通寺―龍穩寺―全洞院―渋沢平九郎自刃の地―黒山三滝の全長約15キロメートルの自然歴史散策路です。ふるさと歩道解説板が設置された社寺と旧跡は、全て、平成元年に町制施行100周年事業の一環として制定された「越生町再発見100ポイント」にも選ばれています。

す。現代まで守り伝えられてきた豊かな自然や史跡・文化財は、町のかけがえのない財産です。
 コロナ禍で遠出がはばかられる昨今、気分転換や体力維持

持のため、近場での散歩やウォーキングを始める方が増えているそうです。「ハイキングのまち」を歩きながら、越生の魅力を再発見する良い機会にしてみたいかがでしょうか。



配布されていた「ふるさと歩道マップ」(平成7年刊行)